

事業報告（第 1 0 事業年度）

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

公益社団法人 OMOIYARI プロジェクト

○事業報告

【相談業務】

- ア. 相談窓口を設け、出所者や社会不適応者が社会に適応していくための支援を行う。
・令和6年度実績：3名
- イ. 日常生活や医療費の支援
出所者等に対し、住居として本法人寮を提供し、衣類・寝具・家電・携帯電話等生活必需品や食事代・医療費の支援を実施するもの（6か月又は就職後初給与までのどちらか短い期間、理事会の承認により延長可）。また、社会復帰のために他者とのコミュニケーションを図るイベント（会食）等も行う
・令和6年度実施実績：本年度の実施はなかった
- ウ. 就労支援
社会復帰に向けた就労支援及び指導の実施。なお、必要に応じ必要な研修支援を実施する。
・令和6年度実績：2名
- エ. 就労後の支援（フォロー）就労後1年間のフォローを実施。就職者が起こした問題行動（就職先の器物の破損、家賃滞納）等に対しても一定の基準で弁済等の支援を実施する。
・令和6年度実績：1名

【財源】日本財団からの補助金及び寄付等を財源とする事業

- ア. 就労体験の提供や情報提供、就労後のサポートの提供
：仕事フォーラムの開催
・令和6年度実績 仕事フォーラム
- 関西拠点：刑事施設2施設増の17施設（刑事施設11・少年施設6）24回実施。関西拠点以外：8施設（刑事施設6・少年施設2）9回実施。関西拠点所属の職親企業延べ96社の参加となった。
※結果、8社31名の採用を実現
- イ. モデル矯正施設における職業訓練
出所間近で強く就労を希望する服役者を対象とした加古川刑務所等における職業体験や施設内職業訓練の実施
・令和6年度実績 職業体験会
- 建設業種の職業体験を加古川刑務所（男子収容区）で昨年より10名多い24名、理美容・介護業種の職業体験を同刑務所（女子収容区）で昨年より1名多い11名を対象に建設は9日間、理美容は5日間及び介護は4日間の計18日間を職親企業16社の指導の下実施した。昨年度に比べ人員は各業種で増となり、実施期間も増やすことができ、さらなる充実を図ることができた。昨年度は職親企業3社3日間の実施であったが、今年度は4日間、飲食業種については、昨年度は職親企業4社で4日間を播磨社会復帰促進センターで10名を対象に実施したが、今年度は、受講希望者が多く職親企業5社で4日間を6月と12月の2回実施することができ、充実を図ることができた。
※上記実施のため事前調整会議等実施
- ウ. 採用者に対するサポート
採用者（出所者・主院者）に対する良質のコミュニティ形成（友達づくり）、勉強会・交流会の開催等）

- ・令和6年度実績：3/1～3/2に、被採用者の研修として和歌山の熊野神社に参拝した。参加者26名

エ. 職親企業への支援

- ① 職親企業の入会支援（新規職親企業獲得に向けた活動）
：入会説明会を年4回実施した。（5/17、8/28、11/19、2/26）また、職親プロジェクト関西のホームページを都度更新し情報発信をした。
 - ② 職親企業に対する求人支援
：入会説明会で毎回コレワークの方に参加頂いて説明頂いた。
 - ③ 支部開設のための計画・伴奏支援・運営支援
：京都支部での企業説明会4回、滋賀支部での企業説明会3回実施した。
 - ④ 連絡会議の開催
連絡会議・シンポジウム（講演会）の開催
：令和6年度実績 4回の連絡会議を実施した。（5/17、8/28、11/19、2/26）
毎回140名を超える参加者であった。
場所はエルセラーン大阪（大阪市北区）
 - ⑤ 職親企業に対する専門的サポート
企業向け支援者研修の実施/専門職と企業との企業間連携の構築
- ・令和6年度は実施なし

以上